


日付	形態	掲載媒体の名称	掲載内容	掲載状況
2008.10.07	新聞	毎日新聞	「アキバにヒカリ」と題して秋葉原を主に紹介 (全国版第二社会面)	 <p>世界から集まる技術者に寄与 電気学会は、10年以上前から検討を重ね、社会生活に貢献した電気技術者表彰制度「でんきの礎」を創設した。今年度は第1回表彰式が、秋葉原の電気街を舞台に、17日に東京都で表彰式典がある。</p>
2008.10.12	新聞	朝日中学生ウィークリー	ホットニュースという漫画による解説記事で「科学技術の『遺産』」について解説。その中で「でんきの礎」の発表があったとの記載あり。	 <p>電気学会は、10年以上前から検討を重ね、社会生活に貢献した電気技術者表彰制度「でんきの礎」を創設した。今年度は第1回表彰式が、秋葉原の電気街を舞台に、17日に東京都で表彰式典がある。</p>
2008.10.17	新聞	日刊工業新聞	120周年記念記事で「でんきの礎」についても紹介。10件も写真入りで掲載 (8面の全面広告)	 <p>20世紀に達する「社会生活に貢献した電気技術者表彰制度」を創設した。今年度は第1回表彰式が、秋葉原の電気街を舞台に、17日に東京都で表彰式典がある。</p>
2008.10.20	Web	asahi.comマイタウン・山口	藤岡市助と岩国学校教育資料館	<p>初代「でんきの礎」に藤岡市助 現在位置: asahi.com> マイタウン> 山口> 記事</p> <p>国内初のエレベーターや電車の開発に携わり、「日本のエジソン」の藤岡市助(1857~1918)と、その業績を紹介した岩が、電気の発展に貢献した人物や場所などを表彰する「でんきの礎」(電気学会主催)に選ばれた。17日に東京都で表彰式典がある。</p>
2008.10.20	新聞	電気新聞	10件の名称と合わせて顕彰先についても記載あり。	 <p>電気学会が創立120周年を記念して創設した「でんきの礎」の表彰式が同学会の10件の顕彰先が同学会の記念シンポジウムの後、行われた。電力関係では「電力系統安定化技術」(500kV送電の実運用)などが選ばれ、代表者表彰状と記念品が贈呈された。</p>
2008.10.20	新聞	朝日新聞(夕刊)	10件顕彰	<p>電気技術者表彰は、社会生活に大きく貢献した技術者をたたえる電気技術者表彰制度「でんきの礎」を創設。第1回として東京・秋葉原の電気街やイッパライターエレクトロニクス、鉄道座席予約システム「マルス」など10件を選んだ。</p> <p>電気技術者表彰は、学会の創立120周年記念事業として始めた。技術革新や社会奉仕をもちこたえた電気技術や教育的な価値がある人や、場所や事柄を挙げ、社会に広く周知して次世代に伝えていく。選ばれた「秋葉原」は、戦後の混乱期から家電販売の集積地として隆興。学生やマイニ</p>
2008.10.21	新聞	中国新聞	藤岡市助と岩国学校教育資料館	 <p>「日本のエジソン」と称される岩国市出身の藤岡市助と業績を紹介した岩国学校教育資料館が、第1回電気技術者表彰「でんきの礎」(社団法人電気学会主催)に選ばれた。</p>
2008.10.21	新聞	読売新聞(地域版)	藤岡市助と岩国学校教育資料館	 <p>「でんきの礎」の顕彰式が、秋葉原の電気街を舞台に、17日に東京都で表彰式典がある。</p>
2008.10.22	新聞	日刊いわくに	藤岡市助と岩国学校教育資料館	 <p>「でんきの礎」の顕彰式が、秋葉原の電気街を舞台に、17日に東京都で表彰式典がある。</p>

日付	形態	掲載媒体の名称	掲載内容	掲載状況
2008.10.23	Web	毎日jp・山口東版	藤岡市助と岩国学校教育資料館	でんきの礎：藤岡市助と岩国学校教育資料館に 電機産 ◇第1回に選ばれる 国内初のエレベーターや電気鉄道の開発に取り組み、我が国の電機 岡市助（1857～1918年）と、その業績を紹介する市立岩国学校教育 に尽くした人物や地域、革新的な製品を顕彰する第1回「でんきの礎」 や、東芝の開発した「日本語ワードプロセッサ」などとともに選ばれた。
2008.10.23	新聞	交通新聞	交流電化発祥の地、マルス1	交流電化「マルス」選定 電機学会 電気技術顕彰制 電機学会が創立120周年を記念して、今年創立120周年 に「21世紀においても持続可能な社会」を考える上で、20世紀に 献上した電気技術を顕彰する事を主旨としている。顕彰対象は技術 の価値がある、約25年以上経過した電気技術。第一回の今（真 ）から顕彰状と副賞のクリスタルトロフィーと青銅プレートが授与
2008.10.23	web	秋葉原電気街振興 会ニュース	秋葉原電気街が顕彰！	2008.10.23 第1回電気技術顕彰「でんきの礎」  社会生活に大きな貢献を果たし する、第1回「でんきの礎」におき 街が顕彰されました。 詳しい情報はこちら！
2008.10.25	新聞	週間観光経済新聞	マルス1と秋葉原	電気技術顕彰に 旧国鉄のマルス 電機学会が創設した、 社会生活に大きな貢献を 果たした電気技術の功績を たたえ、第1回電気技術 顕彰「でんきの礎」に 「座席予約システム」マ ルス1「秋葉原電気街」 9月30日まで適用し た。座席予約の近代化多 大な貢献をしたとして顕 彰された。 500店舗以上で電気 製品取扱店が建ち並ぶ秋 葉原は、戦前は電気製品 ・部品の問屋として、買
2008.10.27	新聞	電化新聞(1面)	東芝キャリア(インバータエアコン)等 が受賞	電機学会 第1回電気技術顕彰式 東芝キャリアエアコン等 が受賞  授賞式の模様。(左) 電機学会の 代表者、(右) 東芝キャリアの 代表者
2008.10.27	新聞	電気新聞	焦点(コラム)で取り上げ 「電気工学の礎を築いた人」として志 田林三郎と藤岡市助を紹介	焦点 電気工学の礎(いしづ)を築いた人は誰だろ。文 の明暗期に活躍した電気 の第一人者を挙げて、東京 に開催された電機学会の創立 120周年記念行事に出した。記念シ ンポジウムは、「でんきの礎」の第 一歩が行われ、「モノ」(場所)一 人の4カテゴリーから10件選 び、藤岡市助の資料館を志 田林三郎と藤岡市助の顕彰 のシンボルと称される。有名 な人物の若くは急逝した志田知 命いだ。佐藤多夫の出身 本初の工学博士となり、100年 の通信大臣、榎本武揚を念に卒
2008.10.27	新聞 web	科学新聞	創立120周年を機に発足し、社会貢 献技術10件顕彰	社会貢献技術10件 電機学会が創立120周年記念 電機学会は10月17日、第1回電気技術顕彰「でんきの礎」の顕 彰状(区丸の内3-5-1)で開催した。同顕彰制度は、今年創立120周 年。「21世紀においても持続可能な社会」を考える上で、20世紀に 献上した電気技術を顕彰する事を主旨としている。顕彰対象は技術 の価値がある、約25年以上経過した電気技術。第一回の今（真 ）から顕彰状と副賞のクリスタルトロフィーと青銅プレートが授与
2008.11.01	雑誌	OHM11月号	見開き2頁で、でんきの礎の概略と全 10件について紹介	電気技術の顕彰制度 「でんきの礎」発足 
2008.11.10	新聞	東芝新聞	日本語ワープロ、インバータエア コン、ガス絶縁開閉装置	第1回電気技術顕彰「でんきの礎」 ワープロ、エアコン、ガス絶縁開閉装置などが受 10月17日、社団法人・電機 学会が本年より創設した第1 回電気技術顕彰式が都内で

日付	形態	掲載媒体の名称	掲載内容	掲載状況
2008.11.12	新聞	電気新聞	中部電力系統運用部の取り組み紹介の中で、オンラインTSCシステムが電気技術顕彰を受賞したことについても記載あり	<p>し、主に27万5千V以上の系統故障発生時に最適な電源制御を行うシステムとして、95年の導入以降、中部電力の経済運用に大きく貢献してきた。この貢献は世界的にも評価され、03年のエジソン賞(米国・エジソン電気協会)に続き、今年10月17日には、電力系統安定化技術として第1回電気技術顕彰(電気学会)を受賞した。</p>
2008.12.01	冊子 web	多久市報	志田林三郎と多久市先覚者資料館	<p>志田林三郎博士の先見性が高く評価</p> <p>多久市先覚者資料館も同時に「第1回でんきの礎」受賞</p> <p>120年前に鳴えた電気工学の未来技術が20世紀に次々と実現し、その先見性が高く評価されている我が国の電気学会の創設者で日本初の工学博士でもある当市出身の志田林三郎(1855-1892年)と、この功績を収束・展示し、地域社会と一体となって文化活動の一環を担っている多久市先覚者資料館が電気技術の発展に尽くした人物や場所、革新的な製品を顕彰する「第1回電気技術顕彰 でんきの礎」に選ばれました。これは、社団法人「電気学会」が創立120周年を記念して制定。「モノ、場所、こと、人」の4ジャンルから10件が選定され、選料館は2部門で評価となりました。</p> <p>現在、選料館では、「多久の先覚者書画展」(12月25日まで)</p>  <p>▲顕彰技を持つのは10月17日、朝</p>